阿知須町広報

阿知須町役場発行
山口県吉敷郡
阿知須町
発行人　縄田　繁雄
編集人　大浜　武明

印刷所
宇部市東区五反田通
宇部新聞印刷所
電話1725番 1755番

正しい選挙で明るい町政

四投票所で町長、補欠議員選挙

12月15日

兼定町長の退職により新町長を選出する町長選挙ならびに一名欠員中の町議会議員の補欠選挙投票は愈々本月十五日午前七時、サイレン吹鳴を合図に町議会場、本龍寺、伊藤博通氏宅、井関小学校の四投票所で一斉に開始されるが、町選挙管理委員会では選挙に関して万遺憾なきを期し、次の諸点に充分留意され、有権者もれなく投票されるようつよくのぞんでいる。

◎選挙名簿の縦覧

この選挙に使用される選挙人名簿は昨年九月十五日現在で調整した基本選挙人名簿と本年十一月二十五日現在で調整した補充選挙人名簿であるが、この補充選挙人名簿の縦覧については

縦覧期間　十二月三日―七日
異議申立期間　右の期間中
確定期日　十二月十日

◎告示及び選挙投票

十二月四日　告示
〃　町長、議員立候補（推薦）届受理開始
〃　不在者投票開始
十日　立候補（推薦）届出締切
十四日　不在者投票期限
十五日　投票日（午前七時から午後六時まで）
〃　開票日（午後七時半から町議会場で）

なお万一、町長、補欠議員立候補（推薦）者が何れも一名の場合は勿論選挙投票は行われない。

立候補者の立会演説会など

阿連青で公明選挙運動推進

選挙はいつの場合でも公明正大に行わなければならないが、特に今回は町政の根本指針となる重要選挙である事はいうまでもなく、阿連青ではこの選挙に先立ち大々的な公明選挙運動を展開することとなった。その運動の主なスケジュールは次のとおり

△町内要所に檄文、部落進出スライドにより公明選挙の啓蒙
△放送車による選挙投票の棄権防止
△候補者の立会演説会開催
12月11日午後7時　阿知須小学校講堂、12日同　井関小学校

御用納めは二十八日

町役場ならびに町教委会事務局では県の指令に基き御用納めは例年通り二十八日と決まりましたので御用のある方は同日午前中にお済ませ下さい。なお新年の始業は四日から平常通り執務致します。

役場の執務時間変更

町役場ならびに町教委事務局の執務時間を十二月一日から当分の間午前八時半から午後四時半まで（但し土曜日は従前通り）に変更しましたので御了承下さい。

なぜ休止されたか

解説

国民健康保険は昭和七八年頃我国の経済状態が不景気のどん底に追い込まれ農山漁村は特に大きな打撃を受け、病気をしても医者にかかる事が出来ないため、死亡率が上昇したことから、政府ではこの対策として昭和十三年七月一日国民健康保険法の制度を施行したものであります。以来本年で満十六年を経過しましたが、終戦直後ほとんどこの事業を実施していた市町村は終戦後の混乱と物資の欠乏により被保険者に対する医師の差別待遇などもあって、俺は健康だから保険料を納めても無駄だ。他人のために保険料を掛ける必要はないなど、お互いに相扶け合い共済の観念が薄らぎ、保険料の収納成績が悪くなるなど三つも四つもの悪条件が重ったため、この事業を止むなく休止するというものが続出し、全国一万市町村のうち僅か二千の市町村が辛うじて事業を継続実施して来ました。

ところが社会が一応安定するに従って最近国保の必要性を痛感するようになり、加えて政府が二十八年度から療養給付費に対して二割の国庫補助増額実施によって、各方面に再開気運が急速に、強くなって来ました。本町でも最近あちこち巷間にしきりと再開要望の声を耳にしていますが、これは町民自体の独立採算制で経営することが主体であるため、あくまで町民の与論を尊重し、町民一体となって共済の精神が満たなければ事業を開始することは出来ませんので再開是か非かについて与論の実態を把握し、御批判を仰ぐべく、国民健康保険制度現況のあらましを次に述べてみましょう。

医者代は半額

まずこの保険に加入するとどんな特点が与えられるかについてみますと、療養給付として療養費の五割の給付、つまり病気をしたら医者代は半額で済むということと、一件千円の助産給付（出産手当）や、このほか市町村の条例によって療養休職中の傷病手当、千二百円の哺育手当、一件二千円の葬祭費などの給付も行われることになっています。

再開是か非か

國民健康保険組合

年間一人の掛金は四百円

次にこの保険の運営に要する経費は被保険者の支払う保険料が五割、国県の補助金が約二割五分、のこりの二割五分は町一般会計予算から補充されます。では保険料一人について年間どれ位納めなければならないかという事を全国平均にみると、約四百円というところですが勿論これは世帯の所得、資産などによってそれぞれ違ってきます。こころみに現在まで継続実施している大道村の二十八年度実績を参考までに掲げてみますと

被保険者数　五、〇三一人
受診率　二三三、五％
同右収納率　九五、六％
繰入金（村補助一世帯平均）　四四五円

となっていますが、とにかくこの

事業は助けられたり助けたり

という精神の根源がなくては絶対になり立ちません。大道村の場合は大部分が農家で占められていて、それだけ村民個人個人の負担は軽くすみ事業が有利に進展していますが、本町には他町村に比べ給与者が多く、このため既に健康保険及び船員保険などの被保険者となっているものはこの国保から除外されるので、それだけ加入は減ってくる事は止むを得ません。

保険制度は長い目で

しかし普通の健保の被扶養者（家族員）は国保に加入する事も出来ますから、給付も当然二重に受けられます。従って従来半額であった医療費は国保加入によって無料となり、お産手当なども双方から受ける権利を有するわけでありますが　被扶養者の加入については与論の結果、加入希望者が多いと町議会が認めた場合に条例で定められるわけで仮りに半数に満たない人々が加入を熱望しても、与論が一致しないと議会で認めれば一切の被扶養者の加入は出来なくなります。このように保険制度は長い目で見ての色々の特点をもっていますから、徒らに目先の事ばかり気にかけず、社会のため、全町民幸福のため多少の障害、隘路を克服して、こぞって社会保障の確立に協力しましょう。

▽△　▽△

贈答用タバコのお買求めは…
是非本町内のたばこ店で…

遺族会總会盛況

公務扶助料の裁定は約半數

二百五十名の会員をようする本町遺族会では十一月二十四日午前九時半から町公民館で臨時総会を開いた。この日出席者は百余名で、中川会長の司会により先般来二市二郡の遺族大会で決議された「洞爺丸遭難者に較べて余りにも惨めな戦没者遺家族を処遇せよ」のスローガンを中心とした宣言報告ならびに靖国神社御初穂料五千二百円ほか支出三万一千円に及ぶ二十九年度上半期会計報告を行ったあと、遺族年金、公務扶助料、その他靖国神社合祀などの質疑応答がなされ正午まえ散会。

なお昨年八月恩給法改正が施行され、戦後停止されていた軍人恩給が復活し本町からも扶助料該当者一九三件のうち書類の整備された一五〇件を進達したが十一月二十日現在、すでに裁定をみたものは全体の四九パーセントに当る七三件で、未裁定のものについても県当局の見通しによれば本年中には大半が裁定されるものと予想されている。（写真は遺族会総会）

處遇改善に悲痛な叫び

小郡町で二市二郡遺族大会

山口、防府、吉敷、佐波の二市二郡地区の遺族大会は十一月十四日午前十時から小郡町信行寺で開催されたが、この日会場には関係市町村長ならびに議長をはじめ来賓一般遺族ら約五百名が出席し、盛大かつ熱心に会は進められた。なかでも遺族の意見発表に混って小郡中学二年生の遺児代表は熱烈な向学心に燃えながら経済的に許されない遺児の教育費については全額国庫負担を要望するなど悲痛な叫びは満堂を感泣させた。結局同大会で決定をみた次のスローガンを遺族の声として近く開会される臨時国会に陳情することとなった

▽公務死の範囲を拡大せよ。
▽公務扶助料を文官と同様にせよ。
▽援護法第三十四条三項該当者（特別未帰還者）に年金を支給せよ。
▽遺児の教育費は全額国庫負担とせよ。
▽戦没者の功績を顕彰する方途を講ぜよ。
▽戦争未亡人、老人遺族の保護施策を積極的に。

学齢児のしらべ

町教委では来春小学校へ入学する児童の調査を各部落自治委員を通じて行っていますが、学齢児を持たれる一般保護者はもれのないよう自治委員と連絡のうえ十二月二十日までに教委会事務局へお届け下さい。なお入学児童予定数は阿小校一七〇名（一名減）井小校六五名（三〇名減）

4628石　完納めざして

ことしの産米供出割当数は基本割当四、一一九石、超過割当五〇九石合せて四、六二八石で昨年に比べ三六八石（一割弱）の増となり今年の稲作状況から決して楽観は許されないが農家各位の並々ならぬ努力によって、このところ毎日順調な集荷がみられ係は手古舞と嬉しい悲鳴。年内には基本、超過共に完納が予想され明かるい正月が迎えられそう。

×　×　×

農家の皆さん。早期に（十二月十日まで）供出すれば石当り二百円の早場米奨励金が受けられます。混み合わないうちにお早く供出をお済ませ下さい。

なお正月用モチ米の集荷割当は五三石（消費者一人当三日分）で十二月二十日までの期限内に集荷すれば次の通り加算額が支払われます。

玄米六〇キロに付　四五〇円
精米　〃　四八〇円
もち三七・五キロに付　二二〇円

賣切れぬうちにお早く

年賀ハガキの取扱いに注意

「金釘流、竹馬の友が目に〝浮び〟」忘れた友人、知己から思いがけなく貰った年賀状の嬉しさは格別のものです。今年も十一月十五日からお年玉つき年賀ハガキが売出されていますが、御承知の通りこの年賀ハガキ一枚五円のうち一円は共同募金として納入されますんで知らずのうちに社会奉仕が出来、同時にミシン、自転車の当る楽しみと一石三鳥をねらったものです。本町の割当数は三万四千枚で毎年十日頃までには売り切れの予定ですから阿知須郵便局ではお早くお買求められるようのぞんでいますなお年賀ハガキ取扱いについて当局の諸注意に充分御留意下さい。

▽このハガキの使用期間は十二月十五日から一月十日までに年賀状として差出されるものに限る従って期間外や年賀以外の通信文に使用されれば別に一円切手を貼らなければならない。

▽年賀郵便特別取扱期間は十二月十五日から十二月二十八日まで

惠まれぬ人にも正月餅

年末たすけあい運動

毎年十二月にはお正月がきても寒さにふるえ、お雑煮も祝う事の出来ない気の毒な人達に暖い手を差しのべて明るい社会を建設しようとする「年末たすけあい月間運動」が実施されます。ことしも近く婦人会の御協力により一品きよ出運動が展開されますが正月用品、不要衣類、日用品など何んでも結構です。趣旨に御共鳴下さいまして町民皆様の絶大な御支援御同情をのぞんでいます。

学園だより

☆第七回県学校美術展は十一月十九日から二十三日まで山大教育学部講堂、中村女高講堂の両会場に開催されたが県下各地からよせられた小、中、高生徒作品一万点のうち本町中学校磯村稼郎君と同縄田碧子さんの図画が揃って特選に入賞した。また同校西村佳子さんは工作の部で佳良賞として近く製作される県のスライド化される。

☆このたび町立井小、阿小、阿中三校の緊密な生活指導連絡のもと各部落の小、中学校生徒が一体となって、部落内の美化清掃運動に乗りだすことになったが十一月二十日（土曜）午後一時から町内一斉清掃作業を行い、古びたビラの取除き、道路のゴミ取り、神社の落葉清掃でみるみるうちにすがすがしい気持のいい街に生れ変った。

☆阿小校では十一月十七日山大鶴岡先生を招き同校内の音楽研究会を行ったが、この日各学年毎に出演した合唱、独唱、合奏はすべてテープレコーダーに収録され午後引続き同職員室で行われた同先生の批評会に先立ち録音を再生して効果を倍加した。

トピックス

☆阿知須井関両婦人会では最近とみに殖えてきた物売、押売りの横行に対処してかねてから、退散方法をねっていたが、警察署、町役場などの協力を得て、このたびこころみとして会員全戸の玄関口に「押売りお断り、阿知須町婦人会」の標札を掲げ年末シーズンの強敵を撃退することになったが、サテこの成果は？各方面から注目されている。

☆去る六月、井関、阿知須両婦人会の手によって集められた古布団綿、布団ぎれ約三十貫はその後送付先が変更のため町役場に保留中であったが、このほど県社会福祉協議会から徳山市久米共楽園（孤児収容所）宛の指示があったので十一月十三日梱包発送した。

〃美の祭典〃　十七日から三日間
繰り展げられる多彩なプロ

情操を養い、町民各自の文化水準を高め、相互の親睦を図にして一致協力、郷土の発展をより一層強力に推進する啓蒙運動としての文化祭は十二月十七日から三日間、町公民館、阿知須小学校講堂で華々しく開幕される。すなわち行事は郷土美術展、前夜祭、文化祭に大別され、まず十二月十七日から十九日まで（雨日十時―十七時）町公民館を会場とする郷土美術展には日本画、洋画、書道、生花、写真、美術工芸品、彫刻、コレクションなど町内小、中校生をはじめ出品点数は三百点に及び、前夜祭は十八日午後六時から阿小校講堂で阿波青年団員による三つの歌大会が行われたあと映画「四人の娘」が上映される。つづいて翌十九日（日曜日）は午後一時から阿小校講堂で家庭画、舞踊、劇と多彩にわたる青年団演芸コンクールが開催されるほか映画「学生五人男」も上映される。この外婦人会の料理コンクール、阿知須漁協組による水族館、パノラマなども開設され町ならびに主催関係者では一般町民の来場をのぞんでいる。また本町農協組ではこのたび待望の貯蓄一億円を突破したので、記念事業として二十一、二両日盛大な農業祭を行う。

モメ生衛の月12月

町では十二月中の衛生行事を次の日程により実施しますから、関係者の御協力を望んでいます。

◎種痘　11月30日　123期　阿小校
12月1日　〃井小校
検診　2、6日阿小校　3、7日井小校
料金　十五円

◎結核予防接種
ツベルクリン　21日　阿小校　22日　井小校
検診　BCG　23日　阿小校　24日　井小校
料金　ツベルクリン　五円　BCG　十五円

飼育犬全部（家庭訪問）

おわび

十一月号町広報で発表しました共同募金成績のうち、隣組三六パーセントとありましたが、これは六三%の誤りにつき、謹しんで訂正致します。

文藝作品募集

三満洲発刊周年記念

町広報委員会で来る明日への基盤たらしめるための記念事業の一環として作文、随筆、短歌、俳句、習字、絵画、写真など一切の芸術作品を次の要領で町民皆さんから募集することになりましたので奮って御応募下さい。

【応募作品】作文、コント、随筆、短歌、俳句、詩、習字、絵画、写真

【応募資格】本町住民、本町に勤務先を有するもの並びに異郷土出身者

【選定方法】各作品種目別に審査、小、中校生にはハンデキャップを加味する。

【賞品】総合入賞十名へ賞品なお優秀作品は町広報新年号へ掲載発表

【審査】町広報委員会各専門部委員

【宛先、締切】各応募作品毎に住所、氏名、年令●職業明記のうえ十二月二十五日までに町広報編集部あて

〃明るい家庭の建設譜〃

◎お父さんへお願い

1、自分一人が偉いのだとか自分が皆を率いているのだとか考えたり言ったりして威張らないで下さい
2、自分一人で飲んだり食ったりして遊ばないで家族一緒に楽しむ様にして下さい
3、子供達の乱暴な遊びや喧嘩なども無暗に叱らないでほめて良い遊びに向うように代りの遊びを教えて下さい
4、何時もむつかしい顔をしていないで時には子供達と一緒に談笑するようにして下さい
5、仕事の事も楽しい遊びについても一人で勝手にきめて命令しないで皆で相談してやるようにして下さい
6、面白い話や歌やゲームのようなものを機会がある度に習って来て教えて下さい
7、新聞を読んだりラジオをきくなり仕事の研究をしたりして仕事の能率をあげるように工夫して下さい
8、お母さんを婦人会、親睦会などの会合に心よく出して下さい
9、祖父母とよく話し合って仲間外れにしないように気をつけて下さい

◎お母さんへのお願い

1、婦人会や部落会の会合には出来るだけお父さんを誘つて出席し皆と意見を交して下さい。
2、新聞やラジオを聞いて新しいことを勉強して下さい。
3、家計簿を必ずつけ計画経済の習慣をつけて下さい。
4、炊事場、風呂場などを改善してもつと便利に能率のあがるように工夫して下さい。
5、食事を工夫し食後をたのしい家庭団欒時間にして下さい。
6、保健衛生に気をつけて子供達も病気にならないように注意し自分も栄養を摂つて下さい。
7、子供をアツアツ叱らないでもつと上手にほめてやりましょう
8、毎日毎日に追われがちにならないでもつと楽しい話をするようにつとめて下さい。
9、機会ある毎に色々な面白い遊びを覚えて下さい。
10、常に美人になるように適度の運動をしたりして身体に気をつけましょう。

◎子供さんへのお願い

1、規則正しい生活をする習慣をつけましょう
2、家事（掃除、食事、入浴、洗濯、寝床）はお父さんもお母さんもあなたも手分けしていたしましょう
3、家族会議には色々意見を述べましょうそしてそこで決められたことを実行して下さい
4、とめられた遊びは直ぐやめてもつと面白い遊びをして下さい
5、学校であつたことや習つたことは帰つたら必ず報告して下さい
6、予習復習を忘れずそれがすんでから遊びましょう

◎おじいさん　おばあさん　へのお願い

1、昔と今の時代とは非常にちがうから若い者の言うことをすべて自分に入らないと考えないで温い気持で接して下さい。
2、嫁を単なる労働力と考えたり他人と同じように使つたりしないで同じ人間として尊敬して下さい。
3、家族会議の時間などは嫁も子供も同じ立場で意見をいい合つて下さい。
4、部落の会合や町の行事などにも進んで参加して下さい。
5、家族団欒の時には孫や子供と一緒に無邪気に楽しく遊ぶように努めて下さい。
6、春や秋には近所の人達と一緒にお寺詣りや小旅行に行つて下さい。

会議を開いて生活、レクリエーション、その他について皆と意見を交し合つたものはすぐ実行に移して下さい。
15、女中さんやその他使用人の人も人格者として大切にして下さいそして一定の自由時間を与えて下さい。

◎子供さんへのお願い

1、規則正しい生活をする習慣をつけましょう
2、家事（掃除、食事、入浴、洗濯、寝床）はお父さんもお母さんもあなたも手分けしていたしましょう
3、家族会議には色々意見を述べましょうそしてそこで決められたことを実行して下さい
4、とめられた遊びは直ぐやめてもつと面白い遊びをして下さい
5、学校であつたことや習つたことは帰つたら必ず報告して下さい
6、春や秋には近所の人達と一緒にお寺詣りや小旅行に行つて下さい。

悩みは解消

町民の声

町民の皆さんの悩みはカラリと解消され、以後毎日々々心の中で掌を合せながら通行させて貰つている。この喜びは一人地元民のみならず、幾百となく歩を運ばせている通勤者ならびに一般利用者もの。慈に改めて町当局のたび町当局の御配慮により多年の念願であつた当部落の側溝工事が実施の運びとなり、十月十五日下駄ばき傘さして心地よい雨水の流れを聞きながら溜が出来る道路が出来上つた。これで今までの悩みは解消された自先の慈にとらわれず早く改良しましょう。

▼子供の火遊びはもつとも危険ですから子供の遊びによく注意しましょう。

▼鍍るときは、バケツ、桶等に水を用意して置きましょう。また風呂水は翌朝まで抜かないようにしましょう。

（写真は防火宣伝隊）

反省しましょう　もう一度
『火災と盗難』備えはよいか

一年のしめくくりともいうべき慌ただしい年の瀬は火災シーズンであり、また犯罪の好シーズンともいわれます。年末年始で金銭や人の動きが激しくなり、それにつれて自然人の心も落着きを失い緩みが出来て種々の犯罪や火災発生が増えて来ます。「アブツテ、タカレル」とは正にこの様相をいい現わしたもので年末から年始にかけては特に各方面に細心の注意を払つて「我が家の火災予防はどうか、もう一度深く反省してみましょう。

▼外出するとき、寝るときは必ず火の元を見廻りましょう。

▼取扱は必ず火気の有無を確かめ消してから始末しましょう。

▼石油コンロ、電気コンロ、アイロン等の使用後は特によく注意しましょう、また木具品はとかく危険を伴いますので、一寸

ならびに関係者への慰安の御意を表するとともに納税がもたらす有難さはこんな近いところにあると痛感した事実を町民諸賢へ訴える次第である。寺河内・一主婦25才

ならないよう災難の予防に万全を期さなければなりませんが、十一月二十六日から十二月二日までの全国火災予防週間運動期間に励んで下さい。

門松には小枝を……

鄙かし　新年の足音が近づいてきました。私達日本人は昔から正月を迎えるにあたつて、各家庭の門松には門松を立てた祝つております。それだけに正月松飾りくことはなん、いつても無駄な飾りくことはですが、かとい　て折角切り　あるま年生位の松を根こから切つたり、その小木を伐り採つて門松に利用する事は森林資源の弱る事になりはしないかと思われる今日、もつとも慎しまなければなりません。

最近ラジオ新聞などで盛写版すりで門松代用にしようという声も盛んに聴かされますが、来るべき正月用門松には是非とも藁枝を利用されるよう官庁の御協力をつよくること、思いますが今日はこの退治方法を次に二、三回紹介申上げて町民こぞつて百害あつて一利ない弱敵撲滅運動に御協力願います

▽捕鼠器によるもの

昔からよく用いられたものに「ネズミ取り」がありますが、最初の二、三回はよく取れるが、あとはどうしてももらないという難があります。これは元来鼠という動物が余りにも悪がよく効くため脳の臭いが金網カゴに残つているからで、この臭気を取り除くためには骨松を、骨松類でカゴをくすべれば、また効果をより戻します

▽カメ使用によるもの

ぞくに「ハンドウ」と称するものこれはなるべく大きい方がよいのですが……。このかめの中へ約三分位いの水を入れ、この上へ水が全然見えない程度にモミガラを入れます。ネズミはモミがあると感違いしてドンブリコと中へ落ち込みますと、もうイケマセン。かめの周囲はツルツルすべつてその上内にそり反つて（内側からでは）いますからどうしても上るわけにはいきません。

▽薬剤によるもの

最後に皆さん御承知のように薬品を使用する方法ですが、この方法は手軽で、しかも死がらがミイラとなるため、ウジの発生をみません。これで注意しなければならない事は餌は何時も同じものばかり用いずに時々品物を変えてみる事です。普通ウンノ粉に適度の砂糖を加え水でかきまぜて極平位のダンゴを造り、平たくのばして葡萄をしぼり出し、ちょうど餅のあんこを包む調子で、器が外にはみ出さないようにく包みます。毒薬（チユウブ入りネオメソン）は一個三十円で町役場に用意してあります。

ネズミ退治の方法

物凄く殖える事を例にネズミ算と呼んでいますが、事実ネズミ族の繁殖は凄くきで、オス、メス二匹のネズミは一年間には実に一千五百匹に殖えます。…我々のお金がこんな具合に殖えて行つたらさぞかし楽しい事でしょうが…。元来ネズミ共が最も嫌うものは何物でしょう。それは猫です。猫は鼠を見ると直ぐ捕えて食べてしまいますが、猫の嫌いな理由は鼠の体臭が猫の体臭と同じ為だそうです。

固定資産税第三期分

納税を済ましてサツパリした気持で、お正月を迎えましょう！

納入期限は

12月25日まで

「歳の市」は12月24日

商工会で初詣で招待券発行

恒例阿知須「歳の市」は二十四日早朝から終日開かれるが、本町商店のほか各方面から植木屋をはじめ多数の露店商人が入り込み随分の賑わいが予想される。商工会では一年中のカキ入れどきとばかり目下販売戦準備に大童であるが、今年は一寸趣向を替え当せん者には本町野神社、宮地嶽神社などの団体参拝無料招待が予定され一般買物客に記念の景品引換サービス券は買物百円毎に補助券、五枚で本券一枚と引換えという仕組み。

◇出生の部

父　綱納　出生児　部落
徳永幸一　長男　哲文　岩西前
岩田碧雄　長女　淳子　浜
中原正好　二女　真美子　杖川

◇婚姻の部

夫　妻　部落
田辺　重子　原河
藤崎アツ子　寺河内
岡村定好　佳田シエ　杖川
松本敏夫　片山　佳子　南祝
重富定男　岡田　照江　仙在
上野　盟　上野　和子　細南

◇死亡の部

死亡者　死亡月日　年令　部落
水本　亀　11月2日　37　岡
松尾茂三郎　11月18日　85　小西

編集後記

「光陰の如し」と申しますが、ほんとうに月日の立つのは早いものの。もう今年もあと一カ月を残すのみ。いつもながら可愛がつて貰つている町広報、やがて昔でいう五才の春を迎えます。▲希望跳やら昭和三十年、旧に倍して御愛顧の程よ。▲新年号は皆様の御要望に応え四ページ刷り、一月一日発行と決りました▲では親愛なる町民の皆様。どうかよいお年をおとり遊ばせ…。（O生）

町内野球大会

新鋭東條チーム優勝
テニスは上原・福田組

第三回町内球技大会は十一月十三日排球、庭球何れも午前九時から阿中校庭コートで開会。バレーテニスともに火を吐く熱戦が繰展げられたが結局、バレーでは新鋭東條チーム、テニスでは上原、福田組（千拓）が昨年の優勝の工藤父子を取り堂々凱歌を挙げた。当日最優勝戦以上の成績次のとおり。

▽排　球
寺河内2―0鶴生原
東条2―1阿中生
東条2―1寺河内
上原、福田3―0松浦、松浦工藤　父子3―0藤井、篠浦、上原、福田4―2工藤父子

▽庭　球
東条2（211421―192118）1寺河内